

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	文化関係資料のアーカイブの構築に関する調査研究		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	文化部芸術文化課		芸術文化課長 山崎 秀保		
会計区分	一般会計		施策名	XIII-4 文化芸術振興のための基盤の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料が散逸・消失することのないよう、アーカイブの構築に向けた資料の保存及び活用を図るための望ましい仕組みの在り方について調査研究を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料のうち、テレビ・ラジオ番組の脚本・台本(主に1980年代以前のもの)、写真フィルム(主に1945年から1970年頃までに、物故写真家により撮影されたもの)、音楽関係資料(主に1945年以前に我が国で出版された楽譜)の各分野ごとに調査研究を行い、目録の作成、目録及び資料のデジタル化、目録や資料の公開に係る課題と具体的方策の調査研究、委員会の開催、報告書の作成を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算				40	40	
		補正予算				0		
		繰越し等				0		
	計					40	40	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、本事業において設置される委員会において、資料の所在情報の把握や情報整理等の調査方法の検討が行われるため、数値の指標を示すことは難しい。			成果実績				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業は、本事業において設置される委員会において、資料の所在情報の把握や情報整理等の調査方法の検討が行われるため、数値の指標を示すことは難しい。			活動実績 (当初見込み)			()	()
単位当たり コスト	(円/)			算出根拠				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1	1					
	委員等旅費	1	1					
	庁費	1	1					
	文化芸術振興委託費	38	38					
計	40	40	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・過去の事業仕分けの結果や横断的な見直し基準等を踏まえ適切に実施していくこととする。</p> <p>・支出先の選定に当たっては公募により競争性を確保し、適切に実施していく計画と認められる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、過去の事業仕分けの結果等を踏まえたものとなっており、執行面における課題もない。また、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

諸謝金 1百万円
委員等旅費 1百万円
庁費 1百万円

} を含む

文化庁
(40百万円)

歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料が散逸・消失することのないよう、アーカイブ構築に向けた資料の保存及び活用を図るための望ましい仕組みの在り方について調査研究を行う。

【公募・委託】

A: 社団法人日本放送作家協会
(11百万円)

歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料のうち、テレビ・ラジオ番組の脚本・台本(主に1980年代以前のもの)の調査研究を行う

【公募・委託】

B: 公益社団法人日本写真家協会
(18百万円)

歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料のうち、写真フィルム(主に1945年から1970年頃までに、物故写真家により撮影されたもの)の調査研究を行う

【公募・委託】

C: 日本音楽学会「日本の音楽資料」調査委員会
(9百万円)

歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料のうち、音楽関係資料(主に1945年以前に我が国で出版された楽譜)の調査研究を行う

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

A.社団法人日本放送作家協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査員人件費	3			
諸謝金	原稿執筆謝金、会議出席謝金等	3			
旅費	国内旅費	2			
雑役務費	印刷費等	1			
その他	会場室使用料、通信運搬費、会議費等	1			
一般管理費		1			
計		11	計		0
B.公益社団法人日本写真家協会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	原稿執筆謝金、会議出席謝金等	6			
雑役務費	印刷費等	6			
借損料	会場室使用料等	3			
その他	国内旅費、消耗品費、会議費等	2			
一般管理費		1			
計		18	計		0
C.日本音楽学会「日本の音楽資料」調査委員会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	原稿執筆謝金、会議出席謝金等	4			
雑役務費	印刷費等	2			
その他	国内旅費、通信運搬費、借損料等	1			
再委託費	データ処理作業	2			
計		9	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)